



川口市民防災ボランティアネットワーク

号数：第3号
発行：2007.04.01
かわぐち防災ネット
TEL：048-294-4830

“いつでも・どこでも”襲ってくる地震！備えは大丈夫ですか！！

3月25日午前9時42分ごろ、M6.9の「能登半島地震」発生



震度6強地区：石川県七尾市、輪島市、穴水町
震度6弱地区：志賀町、能登町
震度5強地区：珠洲市など。
震度5弱地区では、新潟県、富山県など各県に及んだ。

(Sankei WEB より掲載)

大羽賀代表、直ちに現地視察及び被害度判定調査活動を開始！

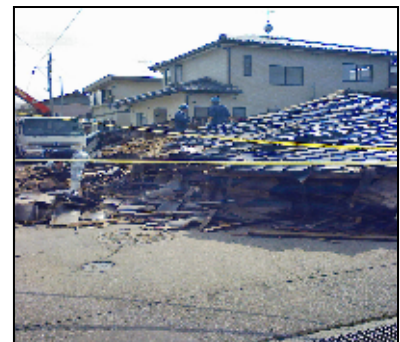
3/27、JIA 日本建築家協会の災害対策委員会事務局と北陸支部の合同派遣に参加されました。写真3枚は、28日現場にて撮影されたものです。



(倒壊家屋 A)



(屋根瓦のズレ)



(倒壊家屋 B)

災害対応の動き

25日：石川県災害対策本部（県庁）設置

石川県災害対策ボランティア本部設置

被災地のニーズ把握・情報収集に基づき現地対策に着手。

旧輪島市及び穴水町でも準備が進みつつあり。

27日：輪島市門前町に市の災害対策ボランティア現地本部設置（市立門前東小学校）。

被災地の1日も早い復旧・復興を

地震被害状況（3月27日朝日新聞朝刊より掲載）

発災：2007.03.25 規模：M6.9 最大震度6強 特徴：強い余震が数多く続く。
震源の深さ約10Km 海底逆断層が動いた可能性がある。

震度6強以上の地震による被害（26日午後5時現在の状況）

発生年	地震	M	最大震度	死者	負傷者	住宅全壊（棟）	半壊（棟）	火災
95年 1月	阪神大震災	7.3	7	6434	4万超	10万	14万	7千棟超
00年 10月	鳥取県西部	7.3	6強	0	182	435	3101	0件
03年 7月	宮城県北部	6.4	6強	0	677	1276	3809	3件
04年 10月	新潟県中越	6.8	7	67	4805	3175	13794	9件
07年 3月	能登半島	6.9	6強	1	210	69	156	0件

余震徐々に減少、1ヵ月警戒必要（30日、朝日新聞掲載記事）

気象庁は29日午前能登半島地震の最新の余震確率を発表した。

今後3日間でM6.0以上（震度5強～6弱程度）の余震が発生する確率は10%未満に下がったが今後1ヵ月程度は震度5弱程度の余震が発生する恐れはあるとして注意を呼びかけている。

同庁によると、29日朝までに余震は280回を超えた。

ただ、25日が149回、26日が79回、27日が28回、28日が20回と徐々に減少している。

ボランティア活動本格化

27日、石川県がボランティア受け入れを決定した。

28日、輪島市門前地区ボランティア本部（市立門前東小学校）で登録受付済ませ各地から支援に駆けつけたボランティアの本格的活動が始まった。（能登半島の2市2町の高齢化率41.4%）

避難所開設（学校、国民宿舎、ほか）中にはビニールハウスで避難生活する人も。

27日大きな被害を受けた輪島市では、24ヶ所の避難所で計1668人が不慣れな生活をしている。避難所を運営する同市も手探り状態そんな中、地域のきづなを大切に住民らが支えあって自主的に運営されている避難所もある。食事や水が行き渡るようになると、様々な要望が出てくる。被災者ニーズにどう対応するか： ブルーシート（すでに品薄のため個人では、入手が困難）シャワーを浴びたい（水道が完全復旧してないため） 家の様子を見たい（お年寄りの声）夜眠れない（高齢者の心のケア必要） 狭い車中生活など（水分摂取と適度な運動をする）

生活不活発病に対しては、「動ける人は動く事」が大切です。